

【館山市】令和4年度地方創生推進交付金事業 「関係人口を活用したリノベーションまちづくり事業」効果検証データシート

館山市内の建物や空間のリノベーションを進めるとともに、地域の求人と求職者の希望する仕事とのミスマッチを解消するため、まずはIT系企業の合宿等を誘致することなどにより、地域に関わる人々の意識改革や新たな仕事の創出につなげる。また、新たな働き方の提案を通じ、関係人口を含む若者がチャレンジ・定着できるための支援を行い、まちの活性化と賑わいの創出を目指す。

事業No.	事業概要	R4担当課	事業費	KPI (重要業績評価指標)	事務局案		総合計画審議会委員による意見 (事務局案について)
					事業の評価	今後の方針	
1	<p>＜リノベーションまちづくり推進事業＞</p> <p>●館山駅周辺地域等の空き店舗や未利用地を有効活用し、まちなかの未利用不動産の新しい使い方と起業希望者などの担い手をマッチングさせ、中心市街地の活性化を図るため、リノベーションスクールを開催した。</p>	雇用商工課	<p>【執行額】 7,700,000円</p> <p>【補助対象額】 7,700,000円 (補助率：1/2)</p> <p>【交付金充当額】 3,850,000円</p>	<p>《KPI》 ①チャンネル登録者数</p> <p>【基準値】(R1) 171</p> <p>【目標値】(R4) 2,521</p> <p>【実績値】(R4) 5,107</p> <p>【達成率】(R4) 202.6%</p> <p>《KPI増加分》 【目標値】 2,350</p> <p>【実績値】(R4) 4,936</p> <p>【達成率】(実績/目標) 210.0%</p>	<p>【内部評価】 ・相当程度有効であった</p> <p>【理由・説明】 ・本事業をきっかけとして館山駅東口エリアの空き店舗を活用し、新たに事業を開始した店舗が増加している。また、館山市のまちづくりに参加する人材やネットワーク、コミュニティの構築が図られてきている。 ・館山駅周辺地域の空き店舗や未利用地の有効活用を図り、併せて起業並びに雇用機会を増やした。 ⇒◇事業を開始した店舗等：11件 ◇増加した新規雇用者数：4名 ・令和元年度、令和2年度のリノベーションスクールに参加した受講生やその関係者などの起業や、昨年度、起業相談窓口に相談のあった方が、飲食店を開業されるなど、リノベーションまちづくりの取組が成果として現れている。</p>	<p>【今後の方針】 ・事業の継続</p> <p>【理由・説明】 ・「リノベーションまちづくり事業」は、第4次館山市総合計画『後期基本計画』の重点プランにも位置付けられており、遊休不動産の活用及び空き公共施設の利活用を目指し、地元商店街や地域事業者の方々との連携を深めながら、令和5年度も事業を継続していく。 ・令和5年度は、昨年度策定した「リノベーションまちづくり構想」に示されたとおり、①高校生によるまちづくり部活動事業、②顔の見える経済循環マルシェ、③空き店舗活用ワークショップ等の活動を官民連携で行っていく。</p>	<p>事務局案（【事業の評価】【今後の方針】）について、ご意見・ご提案等ありましたら、ご記入ください。 ・良かった点、良くなかった点 ・改善策、提案、疑問、質問など</p>
2	<p>＜企業誘致推進事業＞</p> <p>●都市部だけでなく、地方でもインターネット環境さえ整えば海辺や森林等の自然環境の中で仕事ができることを体験してもらい、それぞれのライフスタイルやワークスタイルを考えるきっかけづくりとして、『Living Anywhere Week（リビング エニウェア ウィーク）』のオンライン開催等を行った。</p>	雇用商工課	<p>【執行額】 3,100,000円</p> <p>【補助対象額】 300,000円 (補助率：1/2)</p> <p>【交付金充当額】 150,000円</p> <p>※執行額のうち、2,800,000円は企業版ふるさと納税</p>	<p>《KPI》 ②事業を開始した店舗等</p> <p>【基準値】(R1) 3</p> <p>【目標値】(R4) 30</p> <p>【実績値】(R4) 24</p> <p>【達成率】(R4) 80.0%</p> <p>《KPI増加分》 【目標値】 27</p> <p>【実績値】(R4) 21</p> <p>【達成率】(実績/目標) 77.8%</p>	<p>【内部評価】 ・相当程度有効であった</p> <p>【理由・説明】 ・社会人向けモニターでは、参加者と地元事業者の情報共有や意見交換を通じて、地域の知られざる魅力を発見し、今後の新規事業へのチャレンジに繋がるアイデアを頂戴した。 ・親子向けモニターでは、参加者と地域の親子がお互い学びあいながら、絆を深めることができ、地域の魅力を再発見する機会となり、シビックプライド向上のきっかけにもなった。</p>	<p>【今後の方針】 ・事業の見直し（改善）</p> <p>【理由・説明】 ・今回実施した社会人向けモニターや親子向けモニターの結果を受け、引き続き、ワーケーション推進業務に携わる地域おこし協力隊と連携し、地域と都市部企業等の人材を繋ぎ、関係人口の更なる創出・拡大や働く世代の移住促進、地域課題の解決を図るとともに、将来的なサテライトオフィス・企業誘致の実現を目指していく。</p>	

【館山市】令和4年度地方創生推進交付金事業 「関係人口を活用したリノベーションまちづくり事業」効果検証データシート

館山市内の建物や空間のリノベーションを進めるとともに、地域の求人と求職者の希望する仕事とのミスマッチを解消するため、まずはIT系企業の合宿等を誘致することなどにより、地域に関わる人々の意識改革や新たな仕事の創出につなげる。また、新たな働き方の提案を通じ、関係人口を含む若者がチャレンジ・定着できるための支援を行い、まちの活性化と賑わいの創出を目指す。

事業No.	事業概要	R4担当課	事業費	KPI (重要業績評価指標)	事務局案		総合計画審議会委員による意見 (事務局案について)
					事業の評価	今後の方針	
3	<p>＜関係人口創出・拡大推進事業＞</p> <p>●豊かな自然と都心への近接性という特徴を持った館山市における関係人口の定義を整理・検討し、ターゲットの絞り込みを行った。 ・関係人口の測定や創出・拡大を目的として、令和2年12月から、館山市公認YouTubeチャンネル『館山TV』の配信を開始し、移住や仕事体験等をテーマに、計38本の動画コンテンツを作成・情報発信した。</p>	雇用商工課	<p>【執行額】 1,000,000円</p> <p>【補助対象額】 1,000,000円</p> <p>【交付金充当額】 500,000円</p>	<p>《KPI》 ③増加した新規雇用者数</p> <p>【基準値】(R1) 0</p> <p>【目標値】(R4) 79</p> <p>【実績値】(R4) 17</p> <p>【達成率】(R4) 21.5%</p> <p>《KPI増加分》 【目標値】 79</p> <p>【実績値】(R2) 17</p> <p>【達成率】(実績/目標) 21.5%</p>	<p>【内部評価】 ・非常に有効であった</p> <p>【理由・説明】 ・動画コンテンツは民間によるアイデアに基づき、市民参加型・視聴者参加型の制作に留意した。 ・『館山TV』のチャンネル登録者数は令和3年度末時点と比較して478人増加し、期間中の総再生時間は1,814時間であった。 ・令和4年度に公開した動画に寄せられたコメントは、館山やまちの活性化に対して好意的な意見が殆どで、市外からのコメントが多く、関係人口の創出という目的に合った層に届いていることが確認できた。</p>	<p>【今後の方針】 ・事業の見直し(改善)</p> <p>【理由・説明】 ・『館山TV』については、計画期間である3年間の実施を経て、当初の目標であった事業に自立化まで至らなかったため一旦中止とするが、当該チャンネルを有効活用していくための方策を検討していく。 ・関係人口の創出・拡大に繋がる情報発信は、令和4年度に内閣府交付金事業の一環で作成した「館山市ワーケーション推進サイト」等を活用して取り組んでいく。</p>	<p>事務局案(【事業の評価】【今後の方針】)について、ご意見・ご提案等ありましたら、ご記入ください。 ・良かった点、良くなかった点 ・改善策、提案、疑問、質問など</p>
4	<p>＜オンライン動画による移住等情報発信・相談事業＞</p> <p>●コロナ禍により気づかされた、新しいコミュニケーションスタイルによる移住定住や雇用の創出を図るため、関係人口創出・拡大推進事業により本市に興味を持ったさまざまな方に対し、通常の移住相談に加え、随時視聴ができるようオンライン動画による情報発信を行った。</p>	雇用商工課	<p>【執行額】 4,500,000円</p> <p>【補助対象額】 2,250,000円</p> <p>【交付金充当額】 2,250,000円</p>	<p>【内部評価】 ・非常に有効であった</p> <p>【理由・説明】 ・チャンネル登録者数は当初の目標を上回る結果となった。 ・動画コンテンツは民間のアイデアに基づいて制作し、YouTube上では「館山への移住を希望する」旨の好意的なコメントを頂戴している。 ・空き家バンク物件の内見動画は、再生数の伸びが良く、問合せを受ける機会も多く、早期の物件成約に繋がっている。</p>	<p>【今後の方針】 ・事業の継続</p> <p>【理由・説明】 ・南房総市との定住自立圏共生ビジョンの取組(移住定住・就業促進事業)に位置付けていることから、令和5年度は南房総市と連携を図って移住相談業務を継続するとともに、本市及び圏域に興味を持った様々な人が、地域・場所・時間にとらわれず、随時視聴ができるようオンライン動画を作成する。 ・引き続き移住情報の紹介動画、空き家バンクの内見動画等を配信し、移住・定住の促進に繋げていく。</p>		